

令和3年12月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和3年12月21日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時22分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	谷岡哲郎
生涯学習部長	小坂正樹	教育企画総務課長	重河啓子
教育企画総務課企画調整担当課長	植山智恵	指導課長	田中光彦
教育研究研修センター所長	怒田眞由美		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課主事)	塩島修二
5 議題及び結果			
なし			
6 教育長等の報告[令和3年11月13日(土)～令和3年12月10日(金)]			
11/15	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	幼保運営課・指導課	
11/17	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課	
11/18	教育長学校訪問	教育企画総務課	
11/22	第2回岡山市総合教育会議	総務法制企画課	
11/22	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課	
11/27	わくわく探険隊	地域子育て支援課	
河内委員  指導課長	<p>○ 子どもが輝く学びづくりプロジェクトは中学校区単位で行っていると思うけれども、そろそろその中学校区の学校が全て公開になる時期かなと思うが、中学校区での研究の成果が感じられるところを、どこの学区でもいいが、教えていただけたらと思っている。</p> <p>○ 今行われている学校現場も、2学期も残すところ今週金曜日で終業式を迎え</p>		

るところで、この公開授業も緊急事態宣言が明けた後に10月から本格的に公開をさせていただいている。ただ、これまでと同じような公開の仕方はできず、多くの先生が集まって議論をその場で交わすという形ではなく、代表の先生が授業を見に来て、その中で会を持つということをしていただいている。

まずは小学校、中学校においてはそこがスムーズに移行できるように、それから、今、力を入れなければいけないと思っていることは、就学前教育と連携が大事ではないかと考えている。そこに小学校の先生だけではなく中学校の先生も見に行くことによって、しっかり議論を深めてまいりたいと、考えている。

- その中で特にこういう成果が見られたという具体例があれば教えていただきたい。
- 実際、私も本年度1校だけ子どもが輝く学びづくりプロジェクトに参加させていただいた。東山中学校での公開授業であった。そこは3年目ということでの公開だったが、一つの指導は、これまでもされてきたことではあるが、東山中学校の先生が、しっかりお互いで授業を見合うような形で検討を進めていて、東山中学校全体として目指す子ども像を共有する中で、授業の中でどうしていくかということに視点を入れた授業展開をされていたように思う。(それを受けて、)その後の授業の反省の場では、小学校の先生から、こういったことで中学校の先生は授業をされているということが分かって、それを小学校現場に生かしていきたい。また、幼稚園の先生からも、こういう中学3年生になる姿を思い浮かべながら就学前教育をしていきたいというご意見をいただいて、まずは就学前、それから小学校、中学校の先生方が目指す子ども像を共有できていたところ、一つ大きな成果だと考えている。

- 私は、子どもが輝く学びづくりプロジェクトには今年行けていないが、異校種との連携という部分ですばらしい取組だと思ったのが一つあるので、ご紹介をさせていただく。

先日、竜操中学校に行ったときに、中学校の廊下から至るところの壁面にすばらしい掲示物がたくさんあった。何年も前までの中学校であれば、つい破られてしまうから掲示物は掲示しないと、時にはで焦がされるからとかいうようなこともあって、躊躇していたときもあり、竜操中学校の今の校長先生が赴任されたときはそういう傾向があったと言われていたが、実に見事な掲示物が掲示してあって、全くそれが傷んでない。どういうことからこうなっていたかという話を聞くと、実は異校種というのをやっぱり小学校から学んだと。小学校は見える化という中で、子どもたちの本当にすばらしい掲示をたくさんされている。だから、中学生の自主学習に取り組んでいるのも、小学生の自主学習ノートを小学校が掲示してある様子を見て、中学校でも掲示しだしたとか、こういう取組ができていくということをとにかく見える化し、小学校、異校種から取り入れながらやっていくと、子どもたちはぐんぐん伸びてきているというすばらしい成果を聞かせていただいた。これも子どもが輝く学びづくりプロジェクトではないが、異校種から学ぶ、中学校区で連携をしていくという大きな成果だと思った。

- 以前伊島小学校の子どもが輝く学びづくりプロジェクトに行かせていただいて、そのときにちょうどタブレットが配備されていたので、それを使って実際に子どもたちが日頃から使い慣れているのがよく分かる、必要に応じてうまく使って授業を進められていて、これが中学校区で皆さん頑張っておられるから、京山中学校はもっとレベルアップした使い方ができているのかなと思った。残念ながら見に行けなかったが、そういう授業の流れの中でうまくどう活用するかという授業レベル、中学校区で実際にそれをみんなで共有してやっていくと、随分子どもたちが力をつけていけるのではないかなと感じた。

- 今お話の中で幼稚園との連携がもっと必要だというお話をされたと思うが、幼稚園が少なくなっていくって、保育園やこども園が増えていると理解しており、その連携のほうがより重要ではないかと思ったのだが、そこについて教

河内委員

指導課長

学校教育部長

河内委員

石井委員

指導課長	<p>えていただきたい。</p> <p>○ 幼稚園だけではなく、岡山型一貫教育のその就学前教育はこども園も含んでいるし、保育園、それから私立、公立から私立に変わる場合もあるので、そのあたりもそういった連携は深めていくという話をしながら移行していると岡山っ子育成局と相談しながら進めているところである。幼稚園以外の就学前教育ともしっかり連携していきたいと思っている。</p>
石井委員	<p>○ それはこの子どもが輝く学びづくりプロジェクトの中も入っているという認識でいいのか。</p>
指導課長	<p>○ 認定こども園は入っている。</p>
石井委員	<p>○ 保育園が入っていないのはなぜか。</p>
指導課長	<p>○ 子どもが輝く学びづくりプロジェクトは学校という一つの枠の中でやっているの、認定こども園までは入れている。ただ、岡山型一貫教育、地域協働学校で進めているところの裾野のそこではしっかり保育園等も連携を図っているところである。</p>
石井委員	<p>○ 現地に行ってその廊下を見たら分かることももちろんたくさんあるから、行くというのはすごく大事なことだとお伺いしたが、あまりにも遠くの人が一気に集まるというのもコストと時間がかかるので、ウェブとかも活用したほうが有効だというのはこの一、二年で分かってきたことだと思うが、ウェブで会議とかはやられているのか。</p>
指導課長	<p>○ この一、二年で大きく変わったことは、学校にそういったタブレットだとか I C T の活用をしなければいけない状況になったことである。この子どもが輝く学びづくりプロジェクトにおいても、そういったことは、全校ではないが、可能な学校においては実験的に試行されたと聞いている。今後ますますやっていかなければいけないと感じているところである。</p>
片山委員	<p>○ 子どもが輝く学びづくりプロジェクトに関してはとても画期的な試みで、異校種が連携してお互いにその教育の在り方を知るというのはすごく意味のあることだと思うけれども、例えば幼稚園の公開保育をご覧になったり、小学校の授業参観をされた後の午後の分科会が催される。そのあたりではその異校種の先生方の協議というのは活発なのか。それとも一部の方がおっしゃられて終わるという感じなのか。午後の協議の様子がもし分かれば少しお聞かせいただければと思う。</p>
指導課長	<p>○ 一番大事なところはそこの意見交換、協議をすることだと考えている。ただ、今現時点では大勢の先生方が集まっての話し合いの場にはなっていないが、何名かは参加されて貴重な意見を聞いていると伺っている。</p>
学校教育部長	<p>○ 補足ではあるが、先ほど石井委員も言われていた保育園の先生方がどうなのかということだけれども、保育園の先生方が当然授業するということはないが、授業を見ていただいて、数年前の取組ではあるが、全体の協議の場面には保育園の先生も、何名か来てくださって一緒に協議に参加するというのもう中学校区でやっているところがたくさんあると思う。</p>
片山委員	<p>○ コロナが済んだり、またさっきおっしゃった I C T が活用できるようになると、なかなか出づらいうちも一部出られるようになるとか、参加の自由が広がるのかと思うので、そんなところはまた生かしていければいいと思った。</p>
教育長	<p>○ 11月18日に福渡小学校へ行った。後楽館高校は何回も行っているが、この学校で全ての小・中学校を一回ずつは訪問させてもらった。福渡小学校は全校が44名ほどの小さな学校であるので、山と川に囲まれた本当にのどかで、いろいろなところがきれいで心が洗われる、そういう学校であった。</p> <p>校長は、夢を持ってそれにチャレンジするということにもすごく力を入れていて、これは校長が芥子山の教頭だったときにそのときの校長が取り組まれていたことだが、非常にそこに感銘を受けて、新しい校長になった学校でもそれを頑張っていこうということで取り組んでいた。あとは、これも校長のライフワークらしいが、人権教育、人権感覚の高揚ということで取り組んでいる。</p>



傍聴の状況

報  
一

道  
般

0名  
0名